

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L203	住宅論	2年	講義	2	本年度不開講
授業概要 本講義では、住まいが都市を形づくる最も基本的な要素であることを踏まえ、住まいの変遷から住まいの計画・構造・設備・環境まで、住まいそのものについて基礎的な知識を習得するとともに、日本の住宅事情、住宅政策の変遷と現状、住まいに関連する基本的な制度や仕組みに関する知識に至るまで、都市との関連を常に意識しながら、住まいに関する全般的な知識を幅広く学ぶ。					
到達目標(学習の成果) 私たちの生活の基盤である住まいに関し、住まいそのものと住宅に関連する政策及び諸制度等の基本的な知識を習得し、自らの住まいや日本の住まいについて自分なりに考えられるようにすることを目標とする。さらに、将来、住宅に関連する分野で仕事をする場合に必要となる一通りの知識を習得させることを目標とする。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	住まいとは何か	講義全体のオリエンテーションを行うとともに、住まいの有する機能、世界の集落などについて学ぶ			
2	住まいの変遷	原始・古代の住まいから、中世、近世、近代そして現代までの日本の住まいの変遷について学ぶ			
3	住まいの形について	住まいには、中庭型、外庭型及び共同(高密度)型の典型的な3類型がある。それぞれの特徴、気候風土との関係などについて学ぶ			
4	住まいの計画(1) 住宅の構法	住宅の構造方法、材料、生産方法等、住宅を物として捉え、それぞれの物理的な特徴などについて学ぶ			
5	住まいの計画(2) 住宅地計画	住宅地計画の要素(土地利用計画)、住宅地計画の方法などを学び、更に、大規模ニュータウンの事例から住宅地計画の考え方を理解する			
6	住まいの計画(3) 家族と住まい・間取り	家族構成と住まいの面積、平面計画との関係を学ぶとともに、コーポラティブ方式、コレクティブハウジングやSOHO住宅等の住まい方に関する新しい動きを学ぶ			
7	住まいの計画(4) 住まいの設備、住まいの環境等	住宅に設けられている設備の概要、住戸内の環境、住宅の省エネについて学ぶ			
8	住まいの管理について	住まいは、建築されればそれで終わりではなく、その後の管理が非常に重要であることを理解し、住宅管理の内容、ライフサイクルコスト、マンション管理と区分所有法の概要について学ぶ			
9	住宅事情概論	日本の住宅事情の特徴を住宅・土地統計調査、住宅着工統計、住宅需要実態調査などのデータから明らかにする			
10	住宅政策・住宅供給制度	日本の住宅政策が戦後初期から現代までどのように変遷してきたかを、政策に係る諸制度・住宅供給制度の変化、住宅建設5か年計画の推移、住生活基本計画などから学ぶ			
11	既存住宅流通・住宅産業概論	新築中心で日本では遅れていた既存住宅の流通について関連施策を学ぶとともに、日本の住宅産業の特徴と住宅産業政策の概要を学ぶ			
12	住宅リフォーム概論	住宅リフォームの特性、リフォームの種類、リフォームに関係する産業等について学ぶ			
13	住宅関連技術開発	戦後初期から現在に至るまで、量産化から多様化へ、更に高機能化へ等住宅に関する技術開発の変遷とこれからの技術開発の方向について学ぶ			
14	住宅関連法規と制度	住宅品確法、住宅瑕疵担保責任法、長期優良住宅促進法等最近の関連法規について、その目的と法制度の概要を学ぶ			
15	これからの住まいについて	講義全体のまとめとして、これからの居住場所、居住形態など住まいのあり方について考える			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.授業の前に、この講義用に作成した「講義用資料」を読んでから授業に臨むこと。なお、初回の講義の前にはシラバスをよく読んで、講義全体について把握しておくこと。
2. 授業後にも再度「講義用資料」を読み直し、要点等をまとめるとともに、よく理解できなかったことは、次の授業の際に聞けるように準備しておくこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

授業時の態度及びレポート課題の評価 20% 期末試験の成績 80%

観点	S	A	B	C
住宅の計画、構造、性能等に関する基本的な知識の理解 DP3	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
住宅事情と住宅政策との関係と特徴の理解 DP3	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
住宅のあり方について多面的に考える力 DP3	課題を自ら考える能力がある	課題について考えをまとめられ	課題について理解することができる	課題を一定程度理解することができる

教科書

この講義のために作成した冊子「講義用資料」(約 90 ページ)を教科書として使用する。初回の講義の際に全員に配布する。

参考書等

参考書は特に使用しない。必要な場合は、講義の際に別途プリントを配布する。

履修上の注意・学修支援

- 1.本授業は出席を重視している。2/3以上出席しない場合は、試験の受験資格がなくなる。また、2/3以上出席したとしても、欠席や遅刻は回数により減点があるので、注意すること。
- 2.何かわからないことがあったら、早めに相談すること。なお、相談は、原則としてオフィスアワーの時間に受け付ける。